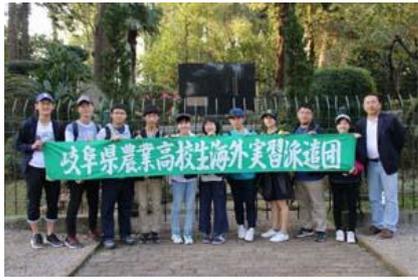


日付	2019年7月27日(土)	天候	晴れ
主な日程	サンパウロへ移動 日本移民資料館 日本館 慰霊碑 JAPANハウス		
時間	研修内容	研修の写真	
9:15 グラーリュス空港	いよいよブラジルに到着、私たちはサンパウロが冬なのに暖かいことに驚きました。空港では岐阜県人会の長屋会長に出迎えていただき、ホテルに向かいました。バスでの移動中に長屋会長からブラジル実習の詳細な内容やブラジル県人会の説明を聞きました。ハードな日程の日もありますが、限られた時間の中でめいっぱい勉強し、ブラジルの農業や日系移民のことなどについてしっかり学びたいと思いました。		
14:00 日本移民資料館	ホテルに到着後、昼食をとり、ブラジル日本移民資料館にバスで向かいました。資料館ではブラジル移民の始まりや経緯など移民の歴史について詳しく学ぶことができました。また、移民の歴史に関する様々な展示があり、理解を深めることができました。移民はすごい勇気がないといけないことだと思いました。ブラジルで活躍される日系移民の方々の原点を学ぶことができ、とてもよい時間だったと感じました。		
14:30 日本館	人がたくさん憩っている大きな公園を通過して、日本館に向かいました。公園には椰子の木がたくさん植えられていました。日本館を入ったところにある桜の木が開花しており、みんな驚きました。建物の中と周辺、すべて日本のようでした。また、移民者を慰霊する慰霊碑を訪れ、先人たちに祈りを捧げました。		
15:20 JAPAN HOUSE	東濃ひのきのオブジェが目を引くJAPAN HOUSEに行きました、入ったところに日本の華道の作品がいくつも展示されていて、日本の文化が伝えられる素晴らしい場所だと思いました。装飾には洋風の花も使われており、草花のデザインの学習にもなりました。他にも、日本の酒や本、風呂敷など日本らしい物が色々紹介されていました。見学の後、CASA DE ROSA (バラの家) と呼ばれる建物に寄って帰りました。昔、コーヒー栽培で財を成した方の家だそうで、とても立派でした。庭にはバラが咲いており、とても美しい場所でした。		
18:10 夕食	ブラジルで初めての夕食は、ブラジル料理店で「フェジョアード」をみんなでいただきました。フェジョン豆で豚肉や野菜を煮込んだ伝統あるブラジルの国民食です。当然、私たちは見たことも食べたこともない料理でしたが、ブラジルでしか味わうことができない料理を食べることができ、貴重な経験ができて嬉しく思いました。		
一日を終えて	岐阜県人会の長屋会長にいろいろ説明を聞きながら、案内していただいた街は、新しい文化と少し懐かしい日本の文化が混じったように感じました。ブラジルは冬ですが暖かく、アメリカとも違う気候ですので、体調に気をつけて明日からのブラジルの研修に取り組みたいと思いました。 文責：安部 悠		